敵の彈幕の中 徹宵悠々巨彈の雨
豪壯ガダルカナル爆擊同乘記

【〇〇基地にて三日高原海軍報道班員】その夜のガダルカナル島はその半身を雲に隠して薄黑く、月明下に横はつてゐた、ルンガ河は鈍い光を見せてゐた、〇月〇〇日夜、私はわが海鷲の夜間爆擊機に同乘、ソロモン群島のガダルカナル島を眼下に眺めた、この日帝國海軍航空部隊は〇回に分れて日沒時から翌〇〇日の日の出時まで間斷なくガダルカナル島を猛爆、敵空軍の牙城に徹宵爆彈の雨を降らせその施設を破壞し敵の心膽を寒からしめたのであつた、而もこの夜襲は長距離夜間飛行の困難を克服しつゝまた敵の熾烈な防禦砲火と探照燈の中に挺進しつゝ行はれた果敢極まる攻擊であつた、私は〇〇少尉の率ゐる攻擊隊に同乘、果敢な夜間攻擊を具さに體驗した

赤道附近、身を刺す寒さ

『寒い、しつかり見て來いよ』といふ〇〇長の激勵に笑顏で答へながら私は機上の人となつた、若い搭乘員たちが親切に飛行服を出して來て『夜はとても寒いですから』と貸し與へてくれたが、赤道附近にあつて毛のセーターを着た上にまた飛行服を着ると丸で蒸風呂に入つたやうな暑さで全身に汗がにじみ出て來た、だが基地を出てからしばらくするとその暑さもどこかへ吹き飛んでしまつて冷々とした感じになつて來た、高度〇〇メートルをもつてわが攻擊機は前方の雲を巧に避けながらソロモン海上を滑かに進んだ、ふと下を見るとちぎれ〳〵に飛んでゐる白い雲の間に金色に光つた海面が見えた、その海面の所々にくつきりと黑い影が落ちてゐる、島か〇〇と一心に見てゐるとそれは月が映す雲の影に騙されてゐるのだ、機の右側に眞黑な雲が幾重にも重つて險惡な空模樣を感はせ時々ぴかつと稻妻の閃光を放つてゐた『夜間飛行の敵は天候である』といふ言葉が一瞬腦裏をかすめた、今度は左側に大きな雲の塊が一つによつきりと突き立つてゐる、その月光を浴びた面は乳白色に、反對面は暗灰色に明暗二色に分れた大入道のやうな雲の塊はむしろ無氣味な感じさへ與へた

來たぞ、愈よ敵地上空だ

この雲の頂上から遙を俯瞰すると光つた海がまるで湖面のやうに靜まつてゐた、操縦席へ射し込んで來る月の光は青白く操縦員の半身を照し出し、その前面の計器盤には夜光の數字や針が燐光を發して光つてゐる、後方の電信員は乏しい光を頼りに一生懸命に電鍵を叩いてゐたが、電信機の上にぶら下げた和洋二つの人形は慰問袋で送られたマスコツトなのであらう、その電信席から〇〇少尉に小さな紙片が廻つた、これは第〇次攻擊隊から敵上空の氣象を知らせ『爆擊に適す』と通報して來たものであつた

機はます〳〵快調に〇〇島の側を通過した、寒さがだん〳〵激しくなり手が冷くなつて來たので腕組をしたりポケツトに手を入れたりしてゐると搭乘員が後から肩を叩いて皮手袋を貸してくれた、やがて〇〇少尉が私の耳に口をあてて大きな聲で「今のうちに小便をしておきなさい」と注意を與へ、そして全員は酸素マスクをつけた、いよ〳〵敵地間近に迫つたのである、薄黑く浮かぶ島々を眼下に見たが地圖をもたない自分はどの島か少しもわからなかつた、たゞ刻一刻と目指すガダルカナル島へ近づきつゝあることだけで私はぐつと兩手を握りしめてゐた、大きな積亂雲の左側を通りこむと機はぐるぐると旋回をはじめた、雲の線がぐつと右へ傾いたり、左へ傾いたりする中にちらつと黑く島蔭を見た、私は勝手にそれがガダルカナル島に違ひないと決めてその島を見落すまいとじつと目を注いだ

敵の照射、遂に我を捕ふ

そのうちにエンジンの響が一きは高くなつたと思ふと相當のスピードで攻擊機はその島目がけて進入して行つた、さあガダルカナルだぞと自分で自分にいひ聞かせながら乘出すやうにして下を見たかねてから眞ん中に二千メートル位の山を背負つてゐるのがこの島の目印でもあらうと感つてゐた私の眼へは、たゞ一つの黑い島にしか見えないその樣相に全く豫想を裏切られた、島の〇方から機は海岸線を越えて攻擊目標の敵飛行場に向つたと思つて見てゐると、黑い地上に二つ三つぱつと探照燈が點じられた、青白い月光を幾千倍にも明るくしたやうな强烈な光である、それが細い光の芒になつてあちら、こちらと夜の空間をかき廻してゐる『摑まらないやうに』と私は心のうちで祈つた、機首の右下に眞つ赤な火の玉が炸裂しはじめた、四つ、五つ敵の高角砲彈である『來たな』咄嗟にさう感じてその火の玉を凝視してゐるうちに地上の探照燈は數を增して十台前後になつてゐた、光の芒がだん〳〵機に近づいて來た、そのうちの一本がさつと右の翼を掠めたと感つた瞬間さらに二、三本の光芒が私たちの機を捉へてしまつた、青白い光の中に曝し出された感じである

搭乘整備員が私に向つて下の方を指して何か教へようとしてゐる、ふと見ると機の下部の四角な小さな窓がまるでアーク燈を充てられたやうに眩しく光つてゐた、今度は機首の丁度左前方に盛んに高角砲彈が炸裂する、ぼつと赤く裂けてしまふとその後には眞つ黑な煙りが殘るのが月明りではつきりとわかつた、地上の探照燈の光芒のほかに所々でぴかつと光つては消える、これはおそらく高角砲彈の發射光であらう

近くで炸裂する砲彈ではあつといふ衝動が機體に感じられた、機は急に翼を右に捻つて照射から逃れ出た、光の芒はなほも執拗に空間を追つてゐたが、機はそのまゝもう一度目標に狙ひを定めた、ガダルカナル島の西側三分の一は白雲の下にあつたが攻擊目標には雲はかゝつてゐなかつた

この好機、眞下に敵飛行場

やがて機は〇方から再び敵上空に迫つて行つた、どうしたことか今度は探照燈は餘り活潑でない、僅か二ケ所位で點燈したがこれも全然見當違ひの方向を照してゐる、絕好の機會だ、飛行場はほの白く地上に浮んでゐる、だん〳〵〳〵と爆音の炸裂音が景氣よく機內に響き渡つた、今こそ敵の頭上にわが爆彈が見舞つたのである

彈着を見ようと伸び上つたが、私の坐つてゐる場所からは遺憾ながらよくわからなかつた、海岸線附近でまた探照燈に摑まりかけたがこれも巧に外してしまつた、所定時間の上空制壓を終り次の攻擊隊に任務を讓ると私たちの機は煌々たる月明下を基地に向つて進路をとつた、〇〇時〇〇分であつた、興奮してゐたせいか少しも眠くなかつた、途中赤飯の罐詰が夜食に出た、私には何かお祝ひのやうな氣がしてならなかつた [illegible] ゐた

滿洲へ鐵鑛石輸出
鮮滿物資交流の現れ

本溪湖の煤鐵公司では貧鑛處理設備の不足から塊鑛石の需要增を來したのでこれが差當りの補充としてかねて鐵鋼統制會朝鮮支部並に鐵鋼原料統制京城支店を通じ利原の鐵鑛輸入斡旋を要請しつゝあつたが、本府並に輸送關係の諒解成り殘るは通關手續きのみとなつたが、これも大體諒解を得る見透しがついたので近く一日五車づゝを限度として輸出することゝなつた

これは煤鐵公司側の差當りの要求に基くものであるが明年度も鮮滿の鐵鑛需給狀況如何によつては引つゞき輸出することゝなる模樣である、しかして鐵鑛石の滿洲向け輸出は大正六年以來のことで大陸經濟の一環たる鮮滿物資の交流の現れとしても注目に値ひする

罐詰組合總會

社團法人朝鮮罐詰業水産組合では三日午前十時から長谷川町の水産會館三階會議室に臨時總會を開き十六年度經理決算(收入卅三萬六千餘圓、支出廿六萬三千餘圓、差引殘額七萬三千餘圓)並に事業報告、同剩餘金處分の件を附議、剩餘金七萬三千餘圓は左の如く處分することに決定した

事業資金積立四萬四[illegible] 給與基金積立一萬八[illegible] 積立七千五百圓▲[illegible] 三千六百餘圓

引續き午後一時から[illegible]會總會を開催

鐵鋼增産に拍車
―勞務者訓練所五月に開設―

鐵鋼統制會朝鮮支部では昨年四月設立以來、鐵鋼增産のための勞務充足として內地側の要求に基き數次に亘り約六千名の半島勞務者を內地へ送出してゐるが一方、完全なる鐵鋼增産戰士として養成のため半島勞務者訓練所の設置を計畫昨年九月以來豫算百六十萬圓を以て兼二浦邑外堂山里に敷地三萬三千坪を相し訓練所を建設中であり既に九分通りは竣工し五月から開所の運びである

收容人員は大體國民學校卒業程度のものを一回六百名とし約一ケ月間道場に起居させて集團訓練を施すと共に日鐵兼二浦工場において初步的な技術訓練も行ふもので年間約六千名を訓練、內地へ送出する計畫であるが、[illegible]練とするか、統制會が直接收容生募集に當るなどの一般的事業とするかは未定である

なほ初代所長には軍出身者が豫定され目下某氏に交涉中である

小型鎔鑛爐資材 鐵鋼販經由配給

小型鎔鑛爐の資材については、鐵鋼販賣統制會朝鮮支部で斡旋中であるが、今からメーカーに發註して製作してゐては急場の間に合はず小型鎔鑛爐建設の意義にも反するので、一般需要として在庫のものから利用出來るものはこれを選り出し鐵鋼販經由、配給することに決定した

消費輕金屬工業
各發電所に併行增設

物動關係から一時悲觀視されてゐた十八年度の半島における水力發電關係資材及びこれが電力關係消費工業卽ちアルミニユーム及びマグネシユーム工業に對する資材割當は急激に樂觀視されるに至つた

これは十八年度において目下工事中のもの又は着工せんとする朝鮮關係の發電工事及び消費工業が直ちに戰力に寄與し得ないとするの見解に基づき、かゝる長期工事には資材を配分しない事となつてゐたが

その後、五大重點産業の一つたる輕金屬部門については今後一に鮮滿に依存せねばならぬものであることが再確認され、こゝに物動の見解訂正となつたものである、かくして漢水、江界の着工中發電所の年內一部發電開始、水豐の發電機增設、鴨綠、滿洲の兩ダム土豆の着工、これと並行して消費輕金屬工業の新增設が行はれることになつた

半島及び關東州
貿易懇談會を開く

滿洲關雜貨統制組合大連支部中尾支部長代理ほか役員五名は、朝鮮との物資交流を積極化するため近く來城するので、國域輸出入調整機關たる東亞貿易會社では、一行を迎へて六日午前十時から金千代會館に朝鮮對關東州食料品貿易懇談會を開催、食料品を中心とする兩地域の物資交流について具體的懇談を行ふはず

油肥聯總會 豫算案を附議

朝鮮鰯油肥水産業製造組合聯合會では、四日午後二時から金千代會館に本年度定時總會を開催十八年度收支豫算案(千三百萬圓)同會經費豫算案(三十二萬圓)販賣手數料引下げ(千分の十五を千分の十に改む)の諸件を附議

總會終了後引續き所屬組合永年勤續優良職員の表彰式を擧行する

平南水組の地域
農地營團で正式申請

[illegible]總督府に認可申請の際、[illegible]未了のため取殘されてゐた平[illegible]發事業計畫は漸く決定した、[illegible]事業は昨年三月卅一日附をも[illegible]平南水利組合の事業として一[illegible]總督府から認可されてゐるも[illegible]、同組合では四日平南道廳に[illegible]總會を開き營團事業として認[illegible]正式同意をなすことゝなつた

農地開發營團本年度事業として着手完了次第、營團では組合の同意書を添へ總督府に正式認可申請をすることになつてゐる

同地域は平南安州、平原兩郡に跨る二萬八千五百町歩の畓で關係地主も約三萬に達する鮮內有數の水利組合で大正初期からの懸案であつた、昭和元年、昭和水利組合として正式誕生し設計に着手、昭和七年には殆ど計畫も完了してゐたが時恰も內地の農業恐慌から朝鮮における土地改良事業のストツプ政策に引掛つて實現を見ずその後幾多の迂餘曲折を經て昨年さらに平南水利と改稱、愈よ着手の豫定となつてゐたところ營團の設立を見越し再び保留の運命にあつたものである

營團としての計畫は總豫算七萬圓で大同江の水を無盡台下流約五六里の地點より直徑約三米、延長廿七町の隧道を穿つて滑川江側に落し深さ百尺、面積千五萬町歩の貯水池に流入、これを灌漑に充てんとするもので完成の曉は玄米にして一躍三千萬石の增收を見込んでゐる

朝鮮移駐の業者體驗を發表
大阪で懇談會

[illegible]五名改選の件(再選[illegible]氏)を附議した結果、いづれも原案通り可決した

【大阪電話】商都大阪における中小工業者の朝鮮移駐は內地物産の發展獎勵とこれら業者の維持育成に對する總督府の關心と大阪府工業獎勵館および朝鮮物産協會常務理事松浦英雄氏らの斡旋によつて實施中であるがこれら移駐業者の體驗發表懇談會を松浦氏の司會により二月廿八日午前九時半から新大阪ホテル會館で開催した、當日總督府側より出席の山地商工課長および井坂東京事務所長から時局下における朝鮮の使命、今後の移駐問題に對する希望などについて說明あり、引續き業者の體驗談に移り、時局下、中小工業者の移駐問題に大なる認識を感得せしめた【寫眞=懇談會場】

糸組物工業會創立

朝鮮糸組物工業會の創立總會は五日午後一時半より纖維會館會議室に開催、規約制定、初年度收支豫算、役員選任の諸件を附議する

國體の本義 ご道義半島 (十)
鎌田澤一郎

日本の皇道精神こそ 世界文化に新しき光を與ふ

脈々三千年の歷史を貫いて發生し、培養され、保存された具體的な日本民族の生活文化はかくもドイツ思想界の識者を感動せしめて居る。その根底に横る日本精神が分析的であるよりは綜合的であり推理的であるよりは直感的であり組織的でなくて總括的であり、演繹的でなくて歸納的となり、理智本位であるよりは情意本位であることはこれによつても知るを得たと思ふ。同時にそれらの現象は總括的にみて科學的でなくて非科學的であると言へる。巧な推理、細かな分析がない代りに鋭い直感があり、端的に眞理を把握する驚嘆すべき力の存在を感じ、事物の皮相に囚はれてゐないで核心に突き入る洞察力もある。

このことは印度思想、支那思想にも共通するもので、一括してこれをアジア的性格といへる。簡單にいへば、主客の對立を綜和して直接的に合一し、主觀が客觀世界に直接的に沒入することであり、人間と自然との全き融合を根底に持つ。即ち小我を克服して萬有のなかに融け込み、それと一體となり、萬有と同じ鼓動を搏つてゆくといふ點に自らの完成を見んとする內面沈潛の傾向である。

然し乍ら豪華絢爛なる近代物質文明を齎した科學の理念は生誕しなかつた。この近代科學の發達はエヂプトやバビロニヤが大自然の威壓下にあつてつねに自然の對立を前提としたことによつて發生しやがてそれが物質生産の技術と結びついて飛躍的に發展したヨーロツパの近代社會を産み出したのである。自然を愛しこれに沒入融和することを前提とした東洋思想に於てこれを缺いだことは當然と言へるが、重大な問題はこゝに横たはるのである。

人は過去における東洋精神、日本精神の偉大性を語る。とりわけ我日本文化は東洋文化の精粹をなすものとして世界文化の上に獨特の位置を占めてゐるといふ。もとよりこれは否定すべきでない。しかしながらその缺陷についても率直にこれを認めなければならない。卽ち西歐文化のどこを濾過し、日本文化のどこを活かすかを[illegible]に檢討しなければならない。このことを通じて始めて世界的に見て新しい文化が生産されるのである。

明治以來外國文化の輸入の弊に陷つたが故にこれから日本精神を中心として、その傳統の上に立たうといふだけでは單なる反動に過ぎない。たゞ過去のまゝなる單純な復活、舊態依然たる再生産には滿足せず日本精神の立場から世界文化に新らしい光を與へ、世界文化に貢獻するのが日本の文化史的使命でなければならぬ。

若し日本的民族文化が排他的な偏狹的なものとして日本にのみ通用してその普遍性が世界的に認められないとすれば發展的指導的であることは出來ない。頑強な傳統的保守主義が空疎なる獨善的立場にのみ終始する場合に於てこの危險は充分に存在する。

日本の皇道は偏狹的な民族主義ではなく公式的な國際主義でもなく況んや單なる民族的詠嘆ではない。世界に於ける最も古き精神より今日の精神に至るまであらゆる精髓的なものが含まれてゐる。そして外來的な異質者の特殊性に相應じて自己形成をする屈伸性も開放性も備へてゐる。一つの時代、一つの思想、文化にのみ拘るが如き固定的なものではない。その歷史的な環境に順應してそれと自己を合するだけの彈力性をも備へてゐる。從つて日本民族のみの團結の爲ならば、非合理的な契機、直觀と行とのみでいゝかも知れない。しかし二つ以上の民族が結合する爲には科學的合理性が基礎にならなければならない。今後大東亞建設と創造の紐帶たり得べきものは一つの普遍的な思想による統一が與へられることである。

その思想は同時に東亞の諸民族を抱擁し納得せしむるものでなくてはならぬ。東亞に存する各民族を合流せしむべき合理的なものと非合理的なものとは單に抽象的な對立に於てのみ考へられてはならない。むしろ辨證法的に統一されてゐなければならぬ。

本社寄託獻金
=二月廿八日、三月一日扱=

恤兵金

【陸軍】十一圓十九錢 京城府積善町一三五ノ一中島潤子
【海軍】八圓十一錢 京城府本町四ノ一二五山本佳、同 京[illegible]

國防獻金

【陸軍】二百圓 京城府樂園町八四林富美子▲百圓 黃金町二丁目一九五東拓ビル內野村證券株式會社京城支店
【海軍】百圓 壽松公立國民學校第十八回卒業生一同▲百圓 黃金町二丁目一九五東拓ビル內野村證券株式會社京城支店▲四十八圓八十錢 又新公立國民學校生[illegible]同

恤兵金

【陸軍】百五十圓 黃金町三ノ六三京城製本業組合▲三十圓 平南龍岡郡金谷面廣梁灣專賣局官舍稻葉房子
【海軍】百五十圓 京城府黃金町三ノ六三京城製本組合▲三十圓 平南龍岡郡金谷面廣梁灣專賣局官舍大櫃實▲五圓 京城府安岩町一九一ノ九五石田滋

累計國防獻金 八十六萬九千七百四十一圓六十一錢
累計恤兵金 二十二萬七千六百十二圓八十八錢
總合計百九萬七千三百五十四圓四十九錢

各地大引一覽(三日後場)

朝取 短期

銘柄	大引	高値	安値
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株 短期

銘柄	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株 短期

銘柄	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

隨想錄

戰爭とは矛を執つて立ち向つた時の狀態を云ふものだと考へ易いが、敢て近代戰と限らず、建設を終るまでを〃戰爭〃といふのである▲この點をよく認識して居たのが德川家康である、然らざりし者が源賴朝だと云へるのではあるまいか。家康は一族とその兵を信じて倶に榮え、賴朝は兄弟と功ある武將を疑つた爲に、建設を全うし得ずして僅か三代で亡びた▲戰爭の場合に最も大切なものは用兵の術と、將兵の武勇であること勿論だが、國民の結束とその結束した國民を深く信ずるといふこともまた大切である。次ぎに敵の謀略は、味方を敵であると信じさせるから用心が必要だ▲敵は本能寺にありと云ふが、ゲーザルの如く、既に敵であるものを味方と信じて刺された場合もある。大東亞戰爭に入つて、謀略を警戒せよと嚴しくいふのも要はこの點に就てである。是を例へば歷史の訓へるところは非常に大きい▲支那事變の間に於て、國內にいろいろの議論が行はれもしたが、米英を敵であるとする見方は上下を通じて一致してゐた。その在るところに强力なものとして置くのは、德川家康が伊達、前田、[illegible]

文化 國語鍊成と俳句 (3)
土山紫牛

この際現下の急務中の急務であるところの半島人側に對する國語普及の問題に直面して、殊にその形式の上に於て最も短い詩型を備へ、そしてそれが爲めに極めて容易に斯の道に入り得ることがせられてゐるこの俳句を學ぶことによつて先づ國語のもつ所謂「言靈の息吹」に觸れて、その眞の意義と使ひ方を最も的確に會得せしむるといふことは、確にその宜しきを得たるものであると信ずる次第である。

而かもこのことは、その道の先達によつて既に提唱せられてゐるところであり、且は現に、もうずつと以前から俳句を作つてゐる知名の半島人作家も決して尠くないことは、嘗て私が俳誌「水砧」誌上に掲載し『半島青年層と俳句』の拙稿に徵しても明かなるところである。否むしろ私は常にこれらの人々の次々として偉すところなき國語鍊成の結果による洗煉せられた作品のかずかずにしばしば接する機會を得てゐればこそ、半島人側におけるこの種文藝の普及は決して無駄でないばかりか、適當なる指導によつては益々その隆盛を見ることが出來ると信ずるのである。宜なるかな、現に各地半島人側中等學校においては、その生徒に對して、この俳句が相當に獎勵せられて、半島青年層に著しき俳風興隆の兆あるを見ることは、甚だ頼母しい限りであるといはねばならない。

唯こゝに於て、些か懸念なきを得ないのは、目下特に半島人側に對する俳句の直接指導の機關と、またその指導者に適當なる人物を得ることの困難なる一事であると思ふが、これは要するに、吾々內地人の俳句作家が、たゞ徒らに從來のごとき小市民的な、個人的な小さな自らの殼に閉ぢこもることなく、百尺竿頭更に一歩を進めて自己の[illegible]つゝある、この趣[illegible]島の知識層[illegible]半島の皇民鍊成[illegible]を發するの意氣[illegible]すべきであると[illegible]たかくしてこそ[illegible]の時局[illegible]せて現下の時局[illegible]任する內地人と[illegible]も亦果し得られ[illegible]ある。(終)

不連續線 妹の立場

[illegible]つての惱み[illegible]ばかりの惱み[illegible]姉が試驗に[illegible]科二年の妹[illegible]『姉ちやん、[illegible]しも、姉ちや[illegible]なかつたら[illegible]て、外へ遊[illegible]思つてゐたの[illegible]

題「鷺」

水淺き野澤にけふもおりたちてひそめる魚をねらふ鷺かな　佐藤政子
白妙の衣を着たる高麗人のかはを渡るとみゆる鷺かな　安藤[illegible]
遠目には田鶴かと見えて丸餉のおほ城の松に鷺そすくへる　中島貞信
ふと見れば鶴かとはかりまかふなり水田にたてる高麗の白鷺　工藤武城

文學團體統合 順調に進捗中

文學團體統合は[illegible]協議が進められ[illegible]相貌が明かに[illegible]初の〃朝鮮文[illegible]稱についても[illegible]鮮報國文學會[illegible]なほ大體の[illegible]とに分け、[illegible]部會は小說[illegible]短歌、俳句[illegible]

三月封切文化映畫

既報三月の[illegible]化映畫の新作[illegible]した ◇紅系 御[illegible]研) ◇白系[illegible](理研)[illegible]東寶(理[illegible]畫(獨ウ[illegible]

文化だより

◇收拾氏[illegible]地語作家[illegible] ◇寺本喜一[illegible]日京城驛[illegible]西鮮地方[illegible] ◇林完圭氏[illegible]六日朝鮮[illegible]立藥術協[illegible]

供出強化、節食勵行 食糧戰に完勝せよ

田中總監、銃後に警告

昨年の旱水害に襲ひされて半島の食糧事情は少からぬ不安を抱かせてゐたが、天の試煉にうち勝たんと農村は起ち上つて自らの災害を克服し、また消費者の節米、節食によつて食糧自給態勢確立に邁進する一方いよ〳〵端境の春窮期突破に絶ゆる努力を傾けつゝあつたが、幸ひにも中央政府及び軍部、滿洲國等關係各方面から寄せられた理解と同情により、すでに滿洲雜穀は輸入されつゝあり、外米も相當數量の割當が決定、こゝに半島の食糧事情は難關を打開したが三日田中政務總監は談話を發表『決戰下食糧の確保こそは春窮麥嶺期の克服にあり、更に一段の糧穀供出消費規正に起ち上れ』と警告、節米、増産目標達成への總進軍を促した

政務總監談

昨夏の旱害の後を受けた容易ならぬ食糧事情の克服につきましては半島官民一致協力して食糧の増産に、消費の規正に、或は糧穀の供出に全力を傾注して食糧自給態勢の確立強化に邁進すると共に他面不足食糧の鮮外よりの補塡に付きましては凡ゆる努力を致し來つた次第であります

其の後の推移を見ますると糧穀の供出及び消費規正は一般民衆各位が十分現下の食糧事情を認識し協力せられたる結果概ね順調なる成績を示して居るのでありまして寔に御同慶に堪へませぬ

朝鮮の食糧事情に付きましては中央政府が深き理解と同情を持たれ軍部及び滿洲國等、關係各方面また朝鮮に對し絶大なる協力を寄せられ茲に滿洲雜穀の優先的對鮮輸出が決定せられ、その一部は既に輸入せられつゝあると共に、外米に付きましても相當數量の割當を受くるに至つたのでありまして消費者各位が現下の食糧事情を十分認識し、消費規正の勵行を怠ることなくんば春窮麥嶺も無事克服し得る見透しがついたのであります

食糧の絶對的確保こそ大東亞戰完勝の要諦であり、特に國家總力を擧げて邁進しつゝある生産戰力の増强は食糧の増産確保を必須條件と致しますので食糧對策の圓滑なる運營に付きましては萬全の措置を講じつゝあるのであります

惟ふに現下の食糧事情克服は農民各位が糧穀供出の重要性を十分自覺し、供出報國の誠を捧ぐると共に消費者また現下の重大時局を深く認識せられ、毎日の食糧が農民の血と汗の結晶たることを想ひ感謝の念を以て節食を勵行せられ供出と消費規正とが兩々相俟つて初めて達成せらるゝものであります、これと同時に食糧問題の積極的解決策は勿論増産に存するものであり、特に本米穀年度に於きましては麥類、雜穀、薯類等食糧農産物の増産は焦眉の急務でありこれが増産確保は、窮迫せる食糧事情打拔の最も重要なる手段でありますから農民各位に於かれましては一段の努力を以て増産目標の達成に奮闘願ひたいのであります

終りに食糧事情に鑑み一般民衆各位に於かれましては想ひを第一線將兵の勞苦の上に馳せ、如何なる困苦缺乏にも喜んで耐へ抜く氣概を以て供出の完遂に、消費規正の勵行にまた增産の確保に邁進せられこの上とも食糧完勝に協力を御願する次第であります

慈父の如き部隊長

殊勳甲に輝く 故田村大佐

【東京電話】殊勳甲、功三級金鵄勲章の論功行賞に輝く故陸軍大佐田村○○氏は埼玉縣入間郡三芳村の出身、滿洲事變、支那事變に活躍、大東亞戰爭勃發と同時にシンガポール攻略戰に參加、赫々たる武勳を樹てた、ついで南支方面に轉戰、昨年五月○日雲南省怒江惠通橋で二個師に餘る重慶軍を擊破、同所を占領した、その後幾度か激戰を交へ遂に同方面の戰闘で壯烈な戰死を遂げた

同大佐は非常な部下思ひで殊に健兵の要務を强調、部下の健康に對して常に注意を怠らなかつた、部下も隊長を敬慕すること慈父の如く、故大佐が戰死を遂げて後昨年十二月八日開戰一周年記念日に際して部下の故大佐を偲ぶ原稿を集めて『慈父田村大佐に捧ぐ』と題する冊子を上梓、在りし日の大佐の面影を如實に物語つてゐる

遺族として東京市世田谷區松原に未亡人恒子さん(四三)長女艶子さん(二〇)次女和子さん(一七)長男修一君(一四)三女征子さん(一一)があるが、恩賞の報に恒子未亡人は語る

ただ感謝するばかりです、主人の思出と申してもこれといふ變つたことがないのですが、子供達には優しい父で、修一はじめ皆の養育、教育のことをつねづね氣にかけてゐました、修一が父の後をついで立派な軍人になつてくれることを樂しみにしてゐます

【寫眞=田村大佐の遺族、向つて左より長女艶子さん、長男修一君、恒子未亡人、三女征子さん】

破格の恩命

日航安邊氏談

【東京電話】今回の論功行賞中民間功勞者の一人に大日本航空常務理事安邊浩氏がゐる、安邊氏は陸軍航空の草分け、大正十四年の訪歐飛行初風の機長でもあり、青島戰役には歩兵少尉で出征、今大陸に南方に活躍する荒鷲部隊長の中には彼の教子が數多くゐる

航空局の航空官となり、民間航空の育成に全力を盡し、昭和○年少佐の時に日航の創立に迎へられて野に降り、支那事變勃發後現在に至るまで足かけ八年間は日航および中華航空の民間操縦機を總動員して運輸連絡の重要任務を完遂今回その功により相三の破格の恩命に浴したもので三日日航で氏は謙遜しながら次の如くその感激を語つた

私はたゞ民間航空會社員として當然の事務を執行してゐるに過ぎませんのに、今回破格の恩命に浴したゞ〳〵感激あるのみです、青島戰に少尉で出征した時初めてわが陸軍機が活躍したのですが、私は將來必ず航空戰時代がやつて來ると確信してゐました、今南北兩戰線文那大陸に堂々世紀の爆音を轟かせてゐるわが荒鷲の御活躍を見れば寔に頼母しい限りで、老骨ながら私共で出來ることなら精一杯御奉公したい氣で一杯です

脫稅に封じ手

課稅を斷る客も嚴罰

戰爭に勝つための新しい增稅は去る一日を期して實施され、消費節約に、或ひは持合せ品の利用などで戰時生活を切り詰めながらも、決戰半島は納稅報國に起上つてゐるが、燃え立つこの赤誠の反面、一部の國民、または業者の中には法網を巧に潜つて脫稅を敢て行ふといふ非國民があるので總督府では〝間接稅施行規則〟を制令として近く之を各道に指令する、昨年度における脫稅は酒類、印紙、物品、遊興、骨牌などの間接稅だけでもこれが罰金刑に處せられたものが四萬三千百二名、罰金額はざつと百四十一萬九千五百卅四圓といふ驚くべき巨額を示し、このうち遊興稅が百六十一件で罰金廿三萬七千四百四十五圓、さらに起訴され有罪となつた者が十四件といふ極めて憂ふべき實情であつたので、總督府ではこのたびの新增稅とともに、いよ〳〵取締りを嚴重にして、增稅の使命を果すため發動するもので施行規則十條三、四には特に飲食遊興の脫稅防止をはかつてをり、その制令として

業者は料金領受證發行の義務が負はされ、領受證綴りは一定期間中これを保存すること、また稅率を客の見易い所に貼り出すこと、業務用の帳簿は義務的に作成することなどが設けられこれに違反した者は三百圓以下の罰金刑、脫稅した者は從來と同じく稅金に加へてさらに五倍の罰課金、悪質の者は起訴に處せられるが、一方課稅を斷る客も、斷乎處罰される

低溫で頑張る

冬の學生生活

戰ふ學生の燃える氣魄を低溫生活突破に示す頼母しい實相が城大醫學部衛生學教授木村博士指導の同衛生調査班學生四十名の努力によつてこのほど纏つた、調査は今冬酷寒の十日間を選び一般下宿に居住の内鮮學生たちの室内に寒暖計を備へ、室内氣溫を實測したところ朝は平均攝氏二度、夕刻が七度であるが、内地人學生の居室は平均朝が最高九度、最低零下二度であるのに對し半島人學生は溫突を使ふ關係から朝は最高十一度、最低二度となつてゐる

滿洲の冬季室内最低溫度十五度に比較すれば、割に暖い京城とはいへ二分の一にも足りぬ低溫生活に敢然打ち勝つわけである

木村教授は語る

決戰遂行上出來るだけ燃料を節約戰力增强に提供すべきである、この際學生たちがよく低溫生活を實踐してゐることは誠に頼母しい、今後は衣服に改良工夫を加へて保溫に努めることが大切である、男子は兎も角、女學生にはモンペなどを着せて腰を冷やさぬやうにすべきである、殊に學生や働く女性には決戰服として最適である、從來われわれ日本國民は寒い地帶に生みながら南方の暖い地方の服裝を模倣しすぎてゐる、モンペにも創意工夫を施し衣服で寒さを克服すべきである

殖銀扱ひ十三本が當籤

一月抽籤の債券

◇第六回戰時貯蓄債券 一等一〇・九八七番、五三・一二一番、九八・〇二〇番、一〇・九八七番……

航空燃料自給に貢獻

海相から三會社に賞狀

【東京電話】いよ〳〵熾烈化する航空決戰の進展とともに必然的に要求されるのは航空機ならびにこれに不可缺の高級航空燃料の增産であるが、この度あらゆる困難を排し海軍協力の下に苦心研究の結果わが國における初の高級航空燃料の自給自足態勢確立に畫期的な貢獻をした保土谷化學工業、日本曹達、東洋曹達工業の三株式會社に對し三日嶋田海相からそれぞれ賞狀が授與された

この高級航空燃料は製造法が極めて困難のため大量生産は絶望視されてゐたが右三工場では鋭意研究に挺身しわが國最初の工業化裝置の設計並に建設に從事した結果、さきに見事に完成し設備の急速整備、人員の訓練生産に凱歌をあげたもので今後これが帝國海軍に貢獻するところ甚大なるものがある

人を動かし、世を動かせ

『總督、良二千石に贈る書』第二彈

續經世瑣言

臣道實踐を揭げて吏道の刷新、實踐の向上、錬成に努めてゐる小磯總督はさきに信州松代藩を恐々たる至誠と殉忠によつて救つた歷史に隱れたる偉人〝恩田木工〟の傳記を活きた官吏訓として昭和の木工たれと總督府各局長各道知事に推奨したが今度更に安岡正篤氏著作の〝續經世瑣言〟を第二の推薦書として各道知事宛贈つた

『續經世瑣言』は時局下官吏の心構へを内容に盛つた官吏讀本とも言ふべき良書で、現代の政治家の弱點は餘りに人を知らないこと、人を持たぬこと、人を見ぬこと、人を使へぬことで、政治は畢竟人を動かし世を動かすことであると、官吏の責任、臣道實踐の要諦を揭げてあるほか婦人の一心構へ、或は學徒の覺悟等應世の全般を取扱つた良書で、小磯總督の叫ぶ理念より實踐に移る官吏のこよなき參考書である

新生マライをカメラに

『マレー戰記』の製作者歸る

【福岡電話】大東亞戰記錄映畫『マレー戰記』の製作者陸軍報道班員三木茂氏は昨年九月以來マライ全島を視察し、新生マライの寫眞約五萬枚をカメラに收め二日午後三時四十分昭南より空路福岡に歸還したが語る

新マライを内地の人々に紹介するため今度私はマライ全島を巡り逞しい建設状況及び風俗寫眞約五萬枚をカメラに收めて來た、原住民は一般に映畫に對して興味を持たないといふ人もあるがこれは今まで全然映畫に接したことのないものが多かつたといふ方が中つてゐるやうだ、先般『空の神兵』『ハワイ・マレー沖海戰』などを原住民のために上映したところ上映中盛んな拍手が起つた位だ、感激性に乏しい原住民にとつて、このやうなことは全く珍しいことで、如何に彼らが感激し、また如何く日本を知らうと欲してゐるかといふ一つの大きな證據である

大兵團かくてジャワへ怒濤の進擊

橋上一步も退かず

白石挺進隊血の奮戰記

【ジャカルタ二日同盟】ジャワ全島を網の目の如く縱橫に走る坦々たるアスファルト道路、ジャワ中央山脈の雨水を集め滿々たる濁水を湛へて流れる大小無數の河川、それにかけられた橋梁は戰前オランダが世界に誇つたものであつたが、一年前のジャワ戡定作戰において皇軍はこの道路と橋梁を確保するため上陸と同時に息もつがせず幾多の挺進隊が疾風の如く敵中深く突進し重要橋梁確保に成功、主力部隊進擊の基をなしジャワ戡定作戰の鍵と謳はれたが、想ひ出も新たにジャワ三大河の一つ西部ジャワのチヂユン河のパマラヤン橋及び東部の大河ブランタス河の橋梁確保に偉功を樹てた白石挺進隊の奮戰記錄が現地で發表された

疾風の如く進擊

……パマラヤン橋梁確保を目指す中村挺進隊の別働隊白石隊であつた……

らいつても他の二隊と比較にならぬ小部隊であつたが、隊長陸士○○期出身の若武者白石少尉は初陣のジャワ作戰に士氣軒昂、重任完遂の決意に眦を決し決死の覺悟で第一戰車の天蓋をはね、驟雨の中に沈むセラン平原の彼方を見つめながら突立つた白石少尉の姿は若獅子の猛るが如き武者振りだつた、河岸から一氣に南進○○粁、早や東天も白みはじめ、腰の凉風が椰子の梢を搖すぶり始める頃白石挺進隊は目指す橋梁へぐん〳〵近づいてゐた、やがてチヂユン河の土堤らしい岸が薄明りの中にくつきり一線を描いてゐるのが望見されたが敵は全く警戒陣をとつてゐない、戰車群はそのまま

橋梁上に突進した

……橋梁の中央に蹲し掛つた時、前方を凝視してゐた白石少尉は逸早く怪しい人影を發見した、早くも日本軍來るを知つて敵は橋梁爆破のため……

敵の數名は爆煙の中に飛び散つた、裝甲車を先頭に橋梁上を……來た、白石戰車の狙ひ擊つ……眞正面から敵裝甲車に命中……ともに粉碎された、しかし……敵は一齊に砲火を開き、……くチヂユン河を挾んで彼我……は激しさを加へて行く、……戰車に仁王立ち、一步も退……揮する白石少尉、隊員の……よく嚴しく陸勢なる敵……おりく〳〵肉迫しつゝ强引……續けた、この時戰車に……くから○○名の兵がばら……りて爆破裝置に飛びつい……前の裝置を完全に除去し……るや我が戰車群の火砲は……然に咆哮しはじめ第一戰……込むやうに

對岸に突入して

……た、かくて激戰卅分にし……は完全に確保されたので……力な敵を初陣の血祭りに……任務を果した橋梁上の勇……して感激に泣いたのだつ……

怒濤の進擊を堰止めんとするが如く滔々たる濁水をたゝへて流れるジャワ第三の大河チヂユン河橋梁の確保こそ○○兵團主力進擊にとり絶對かくことの出來ない條件であつた、K挺進隊がクラギラン橋梁前面で暗黑の中で激鬪を續け、强行突破の寸前惜くも大鐵橋を爆破され、ランカスビトン橋も大井挺進隊奮迅の猛進擊にも拘らず繼保寸前に爆破され大進軍を開始せんと待ち構へた○○兵團司令部には一瞬沈鬱な空氣が流れた時

司令部の無電機

は『パマラヤン橋を確保す』と報じた、瞬間司令部に明るい空氣がさつと流れ『たうとうやつたか、誰がやつたかすぐ調べろ』静かに報告を待つてゐた○○參謀長は思はず手を叩いて叫んだ、かくして○○兵團世紀の大進軍の大道は確保されたのであつた、戰前の調査によるとさほど大部隊の通行に適しないといはれ、その故にこそ橋梁確保に向つた白石挺進隊は僅か○○名○兵力であつたが、占領して見ると意外にもこの橋の重要性が判明したのだ、全軍歡呼の裡に太陽は高くのぼり燦々と降りそゝぐ陽光を浴びて日章旗、戰車、トラックは轟々たる音をたてゝパマラヤン橋を渡り、ジャガルタへ、ボゴールへ、バンドンへと破竹の進擊を續けたのである

〝兵舍貸與〟も辭退

飽までも重んじる國際信義

皇軍の護りに朗色の〝赤坎〟

【廣州灣西營にて宮本海軍報道班員廿八日發】日佛共同防衛の趣旨により皇軍廣州灣に進駐して一週間西營、赤坎兩市を中心とする租借地一帶は外郭をしつかと皇軍の手に護られて前に變らぬ平和な明け暮れを樂しんでゐる、米英が佛領マダガスカル、西アフリカに行つた不法侵入と違つて皇軍の公明にして正大なる廣州灣進駐ぶりは廣州灣佛當局はもちろん中國人住民の齊しく認めるところで重慶の宣傳に使嗾され逃げ仕度を整へた住民の大部分もそのまゝ腰を据ゑ租借地内の表情は朗色に滿ち溢れてゐる、國境の街、赤坎は敵地寸金橋市に臨む部隊の駐屯を見たので一兵たりとも市内に入らず、電燈の明るい街並はランプもない寸金橋市と小さな橋一つ隔てゝ夜更けを知らぬ盛況を呈してゐる、僅かな篝火の火を睨みながら廣州半島の敵前上陸の汚れをそのまゝちつと敵の動きを見詰める皇軍將士の姿を租借地住民は何と眺めるであらう、西營においても陸戰隊の陸海將兵は海岸通りにある敵性アジヤ石油倉庫を中心にアンペラ張りの天幕を築き、コゝ椰子の並木連なる田圃道一つを隔てゝ不夜城の街を眺めつゝ默々としてその任務を遂行してゐるのだ、こんなに國際親善に滿ち溢れた進駐がどこの國に出來るであらうが、佛當局の兵舍提供申入れも斷つてあくまで共同防衛に關する協定によつて友邦佛租借地の護りに懸命しい協力ぶりを示してゐるのだ、敵心あらば米英よ來つて廣州灣進駐の皇軍に膝を折れ『大艦ですね』アンペラ天幕の中にこれも土間に……アンペラを敷いて部下に命令を出してゐる輸送隊長にかう尋ねると『なあに國際問題ですからな』と答へて泥だらけの顔を綻ばした、記者は天地に恥ぢざる皇兵としての皇軍の姿にはおかに觸れた氣がしこの兵あつて日本は全しの感を今更ながら強くしたのである

臨時教員並に實業教員養成所を增設

【東京電話】文部省では中等學校理科および實業關係教員の不足對策として昭和十五年度以降全國十一ケ所に臨時教員養成所を設置擴充して來たが、最近さらにこれが擴充增加を必要とするに至つたため、昭和十八年度より新たに山口、德島各高等工業學校および東京農林學校内の三ケ所に臨時教員養成所を、さらに東京農業教員養成所および專門學校、盛岡高等農林學校および仙台、金澤各高等工業學校内の四ケ所に農業および工業實業教員……

京城日報

膝を沒す泥濘續き　兩軍の死闘續く

ドネツ西北に　獨軍大兵力を集結

【クイビシエフ特電三日發】過去數日間のソ聯情報局發表は、目下東部戰線の戰況が膠着状態に入つてゐると説明してをり、二月廿日以降はソ聯軍の戰果を公表する特別發表もなくドネツ盆地においては殆ど大なる戰果をあげてゐない、これに對しドイツ軍の反撃は時にクラマトールスカヤ地區及びウオローシロフグラード西方地區において次第に激化しつゝあり、ソ聯側の前線報道によるとドイツ軍の強固な陣地と自然條件がソ聯軍の現在以上の進撃を不利ならしめてゐるといはれ、特に目下の氣候が確かに南部戰線に於る活潑な作戰展開を阻害してゐるものと見られる、當地クイビシエフの氣象の緩みから判斷するに今年の季節の變化は例年より凡そ一ケ月早いやうである、なほドイツ軍は目下隨所に頑強な反撃を演じてゐるが、ソ聯情報局發表はドイツ軍がクールスク西方に猛烈な反撃を試みてゐると稱してゐる

【ストツクホルム二日同盟】東部戰線の南はコーカサスから北はラドガ湖に至る全線の氣候は、過去數日來溫度の上昇をみ、すでに多數の地區においては本格的な雪解マトルスカヤ地區でも依然激戰が展開され、獨軍はこの方面の大勢を一氣に決せんとして大兵力を集結してゐるが、赤軍もまた猛烈で追ひつ追はれつの戰鬪が繼續されるとゝもに、但勝多數を得たが、戰死者中には赤軍第二十五戰車隊司令パウロク少將の死體が發見された旨、獨軍司令部が發表されてゐる、一方獨空軍の活動も活潑で地上攻撃を加へてゐる

【ベルリン二日同盟】獨軍司令部發表＝一、クバン戰線において一日獨軍は、獨軍部隊を包圍せんとする赤軍の企圖を粉碎した
一、イジユーム地區において獨軍…

諸君は善戰した
ム首相、第八軍に布告

【ローマ二日同盟】イタリー第八軍の將兵は今回東部戰線から歸還したが、ム首相は同部隊に對し二日次の布告を傳達した

第八軍の將兵諸君、諸君はドイツ軍ならびに同盟軍と東部戰線に於て奮戰苦闘したが、右戰闘に際して諸君は不拔の敢闘精神を幾多の決定的證據によつて實證した、壓倒的に優秀な赤軍に對し諸君は出來る限り闘闘し、各師團の軍旗を諸君の鮮血で染めた、赤軍攻撃の最初の怒濤を數日間にわたり粉碎したユリヤ師團から赤軍の包圍をうけたのち相次ぐ十一回にわたる戰闘で遂に圍みを突破したトリデンテイナ師團、さらにアルプス部隊の傳統にもとづき最後の瞬間まで赤軍の攻撃を將耐へたフネンス師團に至るまで、第八軍の勇戰敢闘は悉くイタリー國民の感情を揺り動かさぬものはない、ハリコフの防戰で殊勳を樹てたラベナ、ホツセリヤ、パスビオ、ヴインセンツヤ、スフオレスカ、トリノ各師團ならびに黑シヤツ隊の三月二十三日部隊および一月三日部隊の殊勳はイタリー軍將兵の模範である、諸君は困苦缺乏に耐へ限りない進軍を續けて偉力ならびに精神力を異常な試煉に附した將兵の重大なる義務を痛感し一意報國の念に燃えてゐるなかつたならば、これらの困難を克服することは出來なかつたであらう、ボルシエビズムに對する戰ひにおいて諸君の蒙つた損害は洵に甚大であるが、今やモスコーの野蠻主義に對し數千年にわたる歐洲の文明を擁護しなければならない、第八軍の將兵諸君、諸君はイタリー國民がこの巨大な戰ひの經緯を深き感動と搖らざる信念とをもつて注視し且つ彼らが如何に諸君を誇りとしてゐるかを記憶されたい【寫眞＝ムツソリーニ首相】

樞軸軍の先制進撃
各地區に戰果を擴大
チユニジヤ北部

【リスボン二日同盟】チユニジヤ北部の戰闘は反樞軸軍の猛烈な抵抗によりやゝ膠着状態に陷つたと傳へられるが、樞軸軍はセラト岬附近およびメジエス・エル・バブ地區で相當進出した樣子だ、英第一軍はチユニス、ビゼルタ兩港への大攻勢を企圖し、裝備極めて優秀な有力部隊および多數の機械化砲兵部隊を集結し前線近くには食糧彈藥品多量を貯へ、さらに戰車、自動車などの修繕施設まで用意してゐた模樣だが、樞軸軍が過般の中部チユニジヤ作戰と同樣敵の機先を制して先月來一齊に進撃を開始したため、反樞軸軍は各地區で多大の損害を蒙つたといはれる、特に一日メジエス・エル・バブ地區では樞軸軍は數個所で敵戰線を突破し、英軍ならびにフランス叛軍に莫大な損害を與へまた軍の一部は退路を斷たれ殲滅の危機に陷つてゐる、獨空軍も地上部隊に呼應して敵の後方連絡線を猛爆、さらに前線へ急行中の機甲部隊に反復攻撃を加へ裝甲車三十八台を炎上させ、チユニジヤでは機關車、貨車多數を脱線させたといはれる一方チユニジヤ中部ではスベイトラ附近のロメル軍が轉進した模樣で、二日反樞軸軍司令部の戰況公報は「スベイトラはわが軍の手中に歸した」と述べてゐるが確報はなく、チユニジヤ南部でも戰線に異状なしと傳へられる

攻撃部隊は惡天候と地理的悪條件の下で、さらに赤軍を後退せしめ激戰陣地を奪取した、敵死傷者の中には第二十五赤軍機甲部隊指揮官パブロフ少將も含まれてゐる、赤軍は多數の捕虜を出し軍需品多數も獨空軍に鹵獲された
一、獨戰鬪機隊ならびに高射砲隊は一日地中海において英機八機を擊墜した
一、ノルウエー西方水域において獨空軍は英驅逐艦一隻を爆撃損傷を與へた

獨英、長距離砲擊戰展開

【リスボン二日同盟】ロンドン來電＝佛沿岸の獨長距離砲は、二日午後九時突如一齊に砲門を開き、海峽を隔てゝドーバーの英軍防備陣地を攻撃したが、英側もこれに應酬、長時間にわたり猛烈な砲…

艦船六隻を屠る
伊空軍北阿水域の殊勳

【ローマ二日同盟】伊軍司令部二日發表＝伊空軍はアルジエー東北方海上で、敵大護送船團を攻撃し敵艦艇三隻合計一萬七千トンを擊沈…

ベルリン盲爆
鳴物入で宣傳

【ストツクホルム二日同盟】英空軍はランカスター、ハリファツクス、スターリングなどの大型爆撃機の編隊をもつて一日夜大舉ベルリンを空襲、ロンドン電報によれば、英國政府筋では『歐洲大陸進攻の前奏曲』と呼稱し、鳴物入りで戰果を宣傳してゐるが、ベルリン來電によれば、空襲は僅か三十分で終了、しかも病院三棟ならびに數ケ所の教會が爆彈を受けるといふ全くの盲爆であつたといはれる、從つてベルリン市民の犧牲は比較的に多く、二日夜の發表では死者百九十三名、負傷者二百六十八名に增加してゐるが、英空軍の損害は甚大で十九機を喪失した

【ベルリン二日同盟】獨軍當局は一日夜間行はれた英空軍のベルリン空襲において現在までに死者八十九名、負傷者二百十三名を出してゐることが判明、死者の數はなほ增加する見込みである旨二日發表するとゝもに、右空襲において…

英驅艦二隻擊破

【マドリード二日同盟】ラ・リネヤ來電＝英驅逐艦エル六六は大西洋で、アンテイロープ（一三五〇トン）は地中海で雷擊破損傷をうけ修理のためジブラルタル軍港に入港した

獨軍は英機十六機を擊墜した旨言明した

ソ波國境問題
英板挾みの窮地

【リスボン二日同盟】在ロンドンの亡命ポーランド政權が戰後における對ポーランド領の回復を要求したのに對し、タス通信社は一日右要求を頭から峻拒する聲明を發表したが、ロンドン來電によればポーランド亡命政權は事態の重大化にかんがみ、二日ロンドンに政治委員會を招集して對策を協議したと傳へられる、デ・スケツチ紙の報道によれば、ポーランド亡命政權の首相シコルスキーは問題解決のため親しくスターリン首相と會見を希望し、兩者は近く會談する豫定といはれるが、一方英國政府は今度の問題では全く板挾みの場合には英國政府は從來ソ聯に對する媚態策から見ても、ポーランド政權に因果を含めて泣寢入りを强要するものと豫想される、すでに英國言論界は今回の問題についてソピエト政府の主張を支持しソ聯の御機嫌取りに汲々としてゐる

戰車七千六百喪失
冬季三ケ月赤軍の損害

【ベルリン二日同盟】獨軍當局の言明によれば二月中東部戰線において獨軍が破壞した赤軍戰車は二千九百四十五台および十二月中の三…

夜間出擊の前に作戰を練る海鷲たち＝南太平洋〇〇基地にて（寺尾海軍報道班員撮影、海軍省許可濟第一〇一號）＝宣送

今週中に全部議了
決戰議會愈よ大詰へ

鐵道用炭の轉換等
無煙炭利用强化方策

二、鐵道用炭の轉換
三、工場用燃料轉換
四、煉炭の增産及び利用
五、家庭用燃料の轉換

衣料切符制　實施せぬ
山路商工課長談

【釜山電話】明年度物動計畫について打合せのため東上中の山路本府商工課長は三日特急「あかつき」で歸任したが、…

半島貯蓄目標　前年の三割增
岡村管理課長歸來談

【釜山電話】十八年度貯蓄目標額打合せのため東上中であつた本府財務局管理課長岡村峻氏は三日特急「あかつき」で歸任したが機上…

決戰第二年を勝ち拔くための國民貯蓄目標額は内外地とも大巾引上げを行ふことになつた、その總額は十七年度の二百三十億圓を一割七分增加して二百七十億圓と決定したので朝鮮もこれに伴つて相當大巾の引上げを見ることになつた、確定的な數字は本月中旬財務局長歸任と同時に委員會を開いて決定するが、大體において十七年度に比し約三割方の增加で總額十一億七千萬圓に上る見込みである、十七年度の目標額九億圓は一月末現在で八十六％に達してをり、二、三月に入つて最善を盡してゐるから、目標額は楽に突破し九億五千萬圓乃至九億七八千萬圓に上る見透しがついてゐる、十七年度における全鮮民の生活費は百五十億圓であつたが長期戰を勝ち拔くための國民生活はもつとく〳〵切下げるべきでこれが…

臆病なくせに贅澤
宋子文　指揮權の返還要求

嫌はれた　在支米空軍

【南京二日同盟】確實なる筋へ達した情報によれば、目下滯米中の重慶外交部長宋子文は、蔣介石の意をうけて米政府に對し、在支米空軍の指揮權を重慶軍事委員會へ返還するやう提議中で、宋美齡も側面から斡旋を行つてゐるといふ、在支米空軍はシエンノートの指揮する米義勇軍時代には重慶軍事委員會の指揮下にあつたため、重慶軍の作戰にも相當協力した、從つて期限滿了して解散したときには米義勇隊は當初の四分の三を喪ふ損害を蒙つてゐた程であつた、しかし昨年七月チエンノートの指揮する米航空隊として改組されて以來、半年餘の間にその活動は著しく衰へ、日本軍の廣大にわたる奧地進攻に對しても殆ど對抗手段に出ず、日本航空部隊は無人の境を行くが如き活躍をなし、各地上戰鬪においても日本軍の空陸一體の作戰に對して米空軍は重慶側の註文を聞き入れず、なんら重慶軍と合作を行つてゐない狀態にある、この狀態を目前にして最近重慶側の民衆ならびに中央日報、大公報など新聞も不滿の聲を高めるに至つたため、重慶當局も遂に意を決して空軍指揮權の統一を名として米空軍をその指揮下に收めるべく提議するに至つたものであらうが、しかし右提議に對しては米國側に著しく難色あり、交渉は目下行き惱み狀態に逢着してゐる模樣である、また米空軍に對する非難としては、彼らの逃避的態度のほかに、アメリカ將校の生活が非常に贅澤で物資缺乏の折から支那側當局を手古擢らせてをり、この贅澤なる態度が一般の反感を買つてゐることもあげられてゐる

宣撫工作大成功
本間報道部員の監利視察談

【漢口二日同盟】今次の支那派遣軍春季進攻作戰において王勁哉軍殲滅戰に從軍、このほど當地に歸還した本間支那派遣軍報道部員は監利方面の狀況に關し次の如く語つた

この度の作戰は王勁哉軍殲滅はもちろんであるが、特記すべきはいはゆる湖北の三角地帶を確保するといふ意味から皇軍の進撃に呼應して住民に對する宣傳宣撫工作も非常に活潑に行はれそれが非常に成功したことだ、監利方面においては皇軍の進撃を知つて早くも日の丸の旗を用意してゐた住民が非常に多かつた、また住民および捕虜の言によつても自分たちは王勁哉は盜賊の親分としか思つてゐない、いつか日本軍が來て助けてくれると思つてゐたし、また漢口方面より來た人に色々の話を聞いても日本軍は一般住民を絶對に殺さないといふので、王勁哉のために徵發された子供を持つた親たちは皆その息子たちに『近いうちに日本軍が來るから逃げて來い』といつて知らせておたことがよく判つた、住民は非常に無智で質朴であり、自動車を見たことがないものがほとんどである、監利の街は保安隊が入つて警備してゐるが、これまた非常に軍紀が嚴正なので、今まで百八十師や王勁哉軍に惱まされてゐただけに保安隊は住民に全く信頼され、占領直後とは思へぬ明朗さを取戻してゐる、王勁哉軍の部下は一部幹部を除いては土地の農民が全部なので、皆それぞれ家に歸らしてゐる、抗日意識のない純朴なこれら一般住民は今後は國府の治下に安居して生業に勵むことが出來るわけで、さうすれば同方面の產物は莫大な量となり、武漢地區の食糧問題にも多大の寄與が期待されるのである

農村指導の尖兵を養成
帝農技術員訓練

【東京電話】食糧增產には多數の優秀な技術員を養成することが先決だと帝國農會では全國二萬五千の農會技術員を再訓練して農村指導の尖兵として增產の第一線に活躍させることになり、二十萬圓の豫算で千葉縣印旛郡公津村成木新田ならびに兵庫縣明石郡神出村小來野の二ケ所に『帝國農會技術員訓練所』を設け訓練に當ることになり、千葉縣の東部訓練所は來る八日井野農相參列のもとに、兵庫縣の西部訓練所は十二日石黑農林次官が參列してそれぞれ開所式を擧行する

初年度は全國各府縣から在職二ケ年以上三十五歲未滿の優秀農會技術員五、六名づつを選拔、東部、西部各百名づつ寄宿九ケ月間訓練に當てるが東部訓練所は本館、教場、宿舍、倉庫、職員住宅、家畜舍など十九棟、一千四十一坪の建物のほか水田三町步、畑五町步、山林六町步、西部訓練所は同じく一千十一坪、水田五町步、畑一町步、山林三十町步の設備を持ち、こゝで優秀技術を實地についてみつちり訓練するのをはじめ、皇國農民指導者をしての確固不拔の精神を植付けることになつてゐる

坪上大使、ピブン首相と懇談

【バンコツク三日同盟】坪上大使は二日午後三時四十分ピブン首相を官邸に訪問、約一時間にわたつて懇談した

ガンジー翁　斷食を完了

【イスタンブール三日同盟】ニユーデリー來電＝ガンジー翁は三日午前八時無事廿一日間の斷食を完了し、オレンジジュース少量を攝取した

ハツキラ氏組閣か

【ヘルシンキ二日同盟】十六日ランゲル博士を首班とするフインランド内閣は、首班を繞りフインランド國内政情混沌たる狀態を呈してゐたが、リチ大統領は二日社會民主黨の領袖フインランド國會議長ハツキラ氏に後繼内閣の組織を委囑した

日滿地方稅共助法委員會

【東京電話】衆議院三日の市制中改正法律案外四件委員會は午前十時四十一分開會、田中政務總監、水田財務局長出席日滿地方稅徵收事務共助法案、明治四十年法律第五號廢止法律案、大正九年法律第五十三號中改正法律案の三案を議題として山崎内務次官より提案理由を説明し吉田東次郎氏から樺太關係についての質問があつた後、…

總督府辭令（二日附）
本府技師　… 依願免本官

消息
◇岡信俠助氏（本府水産課長）東上中の處六日歸任
◇橋田秀孝氏（朝鮮織物需給事務理事）三日釜山へ、五日歸城の豫定
◇笹井善氏（東拓理事）東上中のところ八日歸任の豫定